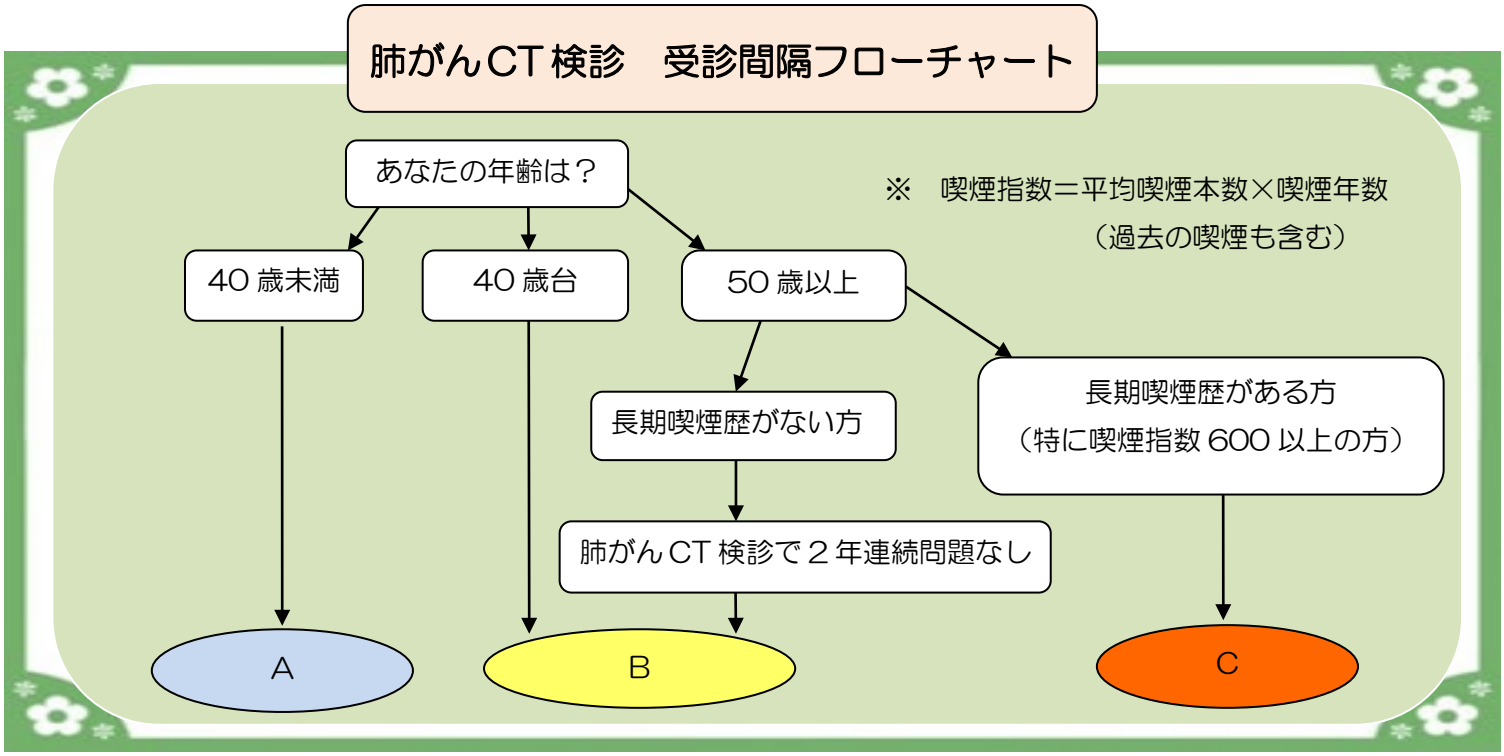
胸部CT検査(肺がんCT検診)について

長期喫煙歴がある方（特に喫煙指数 600 以上の方）は、１年に１回の胸部 CT 検査をお勧めします

胸部 CT 検査は、胸部Ｘ線では発見できない小さながん（5mm 以下）や背側、心臓、血管、骨の影になって見えにくい部分のがんを発見できることが報告されています。

個人のリスクに合った間隔で、胸部 CT 検査を受けましょう

近年、肺がん CT 検診による利益（肺がん発見による余命延長）と不利益（放射線被ばくによる健康への影響）のバランスを考慮して、個人のリスクに合った肺がん CT 検診が求められています。
相澤健康センターでは、適正な肺がん CT 検診をご案内するためにフローチャートを作成しました。参考になさって下さい。なお、肺がん CT 検診は任意検診であり、肺がんの家族歴がある方や、受動喫煙による心配がある方、長期喫煙歴がない方でも不安のある方におかれましてはこの限りではありません。



A　肺がん CT 検診をお勧めしません

40 歳未満の肺がん罹患率は極めて低く、肺がん CT 検診を受ける利益を不利益が上回る可能性が指摘されています。

B　3～5 年毎の肺がん CT 検診をお勧めします

40 歳台の方は、3～5 年毎の肺がん CT 検診をお勧めします。また、50 歳以上の非喫煙者・軽度喫煙者には最初２年は連続して肺がん CT 検診を受けて頂き、問題となる所見がなければ、それ以降３～５年毎の肺がん CT 検診をお勧めします。

C　年１回の肺がん CT 検診をお勧めします

喫煙指数 600 以上の方は肺がんの高危険群であり、肺がん CT 検診による肺がん死亡率低下が科学的に証明されている唯一のグループです。積極的な肺がん CT 検診をお勧めします。

～　注意事項　～

- 妊娠中の方、妊娠の可能性のある方は、胸部 CT 検査を受けることができません。

- 一部のペースメーカーや植え込み型除細動器、持続グルコース測定器、インスリンポンプなどを装着されている方は、放射線検査により機器の作動に影響が出る可能性が報告されていますので、事前にご相談下さい。

- 短時間の息止めが出来ない場合には、判定に必要な画質が得られない可能性があるため、胸部 CT 検査をお勧めしません。

- 1 年以内に医療機関で胸部 CT 検査を受けられた方は、肺がん CT 検診が不要である可能性が高いため、事前に主治医にご確認下さい。

- 過去に肺がん CT 検診で異常所見を指摘された方は、結果報告書に記載されていた指示に従って下さい。

社会医療法人財団　慈泉会　相澤健康センター